

アクティブ運用の復興

HCアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者
加入協会

関東財務局長（金商）第430号
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人投資信託協会

<https://www.fromhc.com>

2025.1.7

人+産業金融=成長
成長を支える投資の原点へ



概要

市場の効率性

効率市場仮説によれば、完全市場で形成された価格はすべての情報を反映した価格であるとされ、価格が価値を表しているとされています。市場参加者の価値評価の平均値が市場価格になるので、市場参加者が各々厳格に評価すれば市場価格は本源的価値に収束するはずですが、インデクスは市場価格が効率的である場合、つまりアクティブ運用が各銘柄の価値を厳格に分析した結果を反映している場合に機能します。

アクティブ運用

アクティブ運用は、市場の中から自己の判断と責任で、高度な選択技術を用いて、自由に銘柄選択をして、高い収益率を実現するように運用する手法のことです。株式運用の基本は、企業の株式価値の絶対評価に基づいた、自律独立した投資家による多数の売買です。投資家による銘柄への厳しい評価を通じて、価値と価格が収束していき、市場の効率性が成立します。

ギリシア哲学の、亀を抜くことができないアキレスの話が有名です。本来のアクティブ運用は、自由に走るアキレスのように、市場でインデクスに囚われず運用を行うべきです。しかし、インデクスを基準にアクティブ運用をしてしまうと、亀というインデクスに気を取られてうまく運用できなくなってしまうのです。

アクティブ運用の投資機会

効率的な市場においては価格と価値は一致しますが、一時的に価格が価値と乖離することがあり、これが是正される過程でリターンを得ることができます。代表例として、バリュウ戦略は、本源的価値に対し価格が下回っており、時間とともに価格が回復すると判断したものに投資する戦略です。また、企業の本源的価値の増殖をとらえるグロース戦略もあります。

徹底した銘柄分析による銘柄選択

アクティブ運用においては本源的価値の分析が決定的に重要になります。その分析においては、客観的価値を求める必要があるため、主観的歪みを排除すべく努力する必要があります。徹底した本源的価値の分析により、銘柄への確信を強めることができ、その高い確信があるからこそ売却規律を厳格に守ることができます。

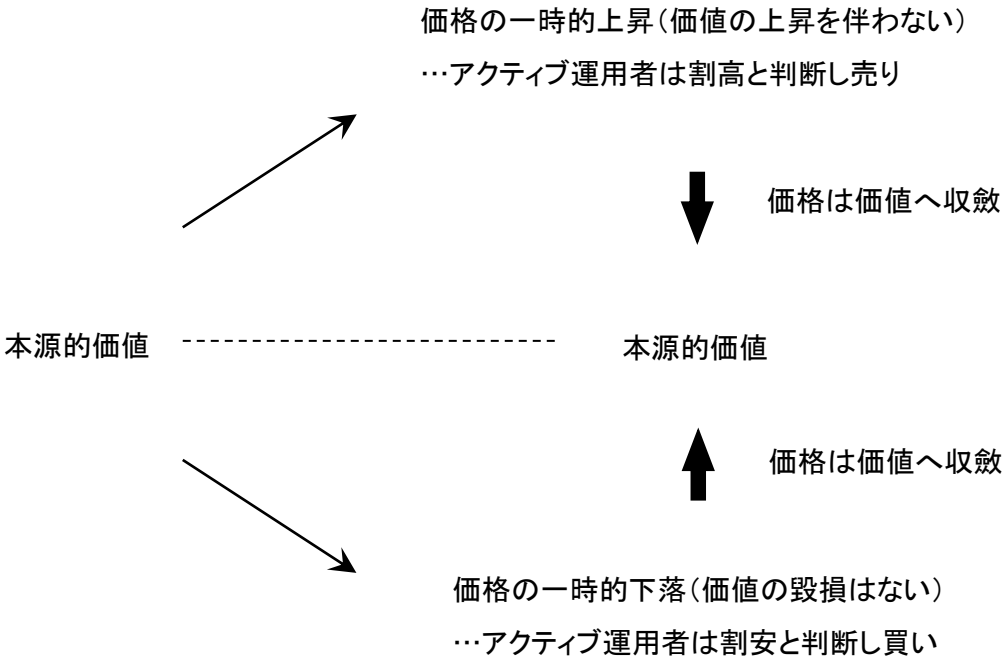
アクティブ運用の復興

本来の資産運用というのは、運用者の絶対的価値判断基準に見合う銘柄だけを、厳選して投資するものです。そのためには、投資領域をあまり狭くしないで、運用会社の裁量余地を大きくするのも、良いのかもしれません。その分、運用会社の責任は重くなります。市場指数との比較で説明できるような運用のほうが、多くの運用会社にとっては、居心地がいいのかも知れません。

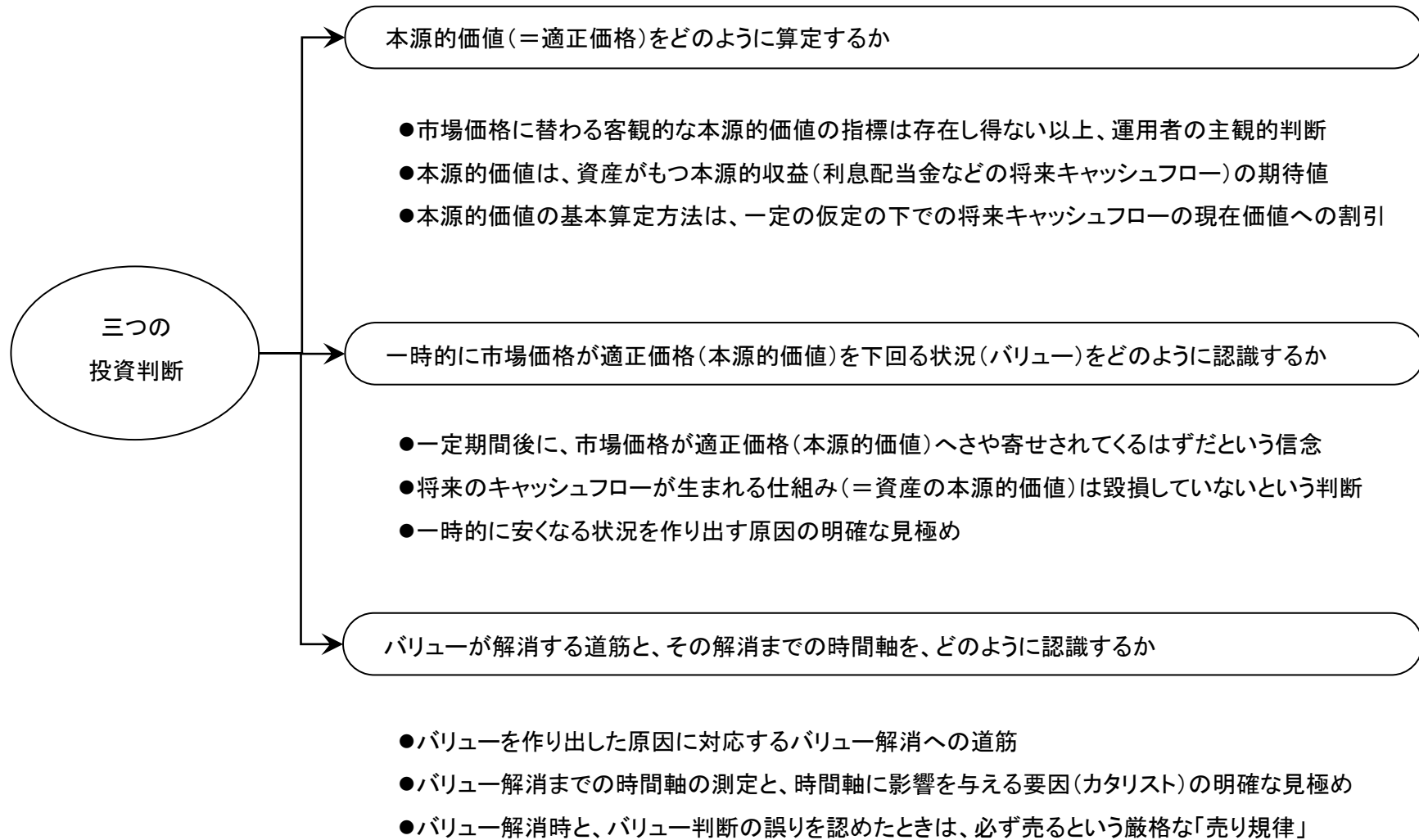
日本の株式市場は、見ようによっては、宝の山です。その宝を掘り当てるのが、真のアクティブ運用だ、という意味で日本のアクティブ運用に期待ができます。

真のアクティブ運用

市場の効率性を支えるアクティブ運用



アクティブ運用に必要な確信度



アンケート

今後の運営に活かしたく、下記リンクよりご意見やご感想いただけますと幸いです。

アンケートURL: <https://forms.gle/zccrJ4juuaXXdMQy6>

注意事項

- 本セミナーは、資本市場における種々の投資対象や投資に関する概念等について解説・検討を行うものであり、当社が行う金融商品取引業の内容に関する情報提供及び関連する特定の金融商品等の勧誘を行うものではありません。
- 本資料中のいかなる内容も将来の投資成果及び将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 本資料の著作権その他知的財産権は当社に帰属し、当社の事前の許可なく、本資料を第三者に交付することや記載された内容を転用することは固く禁じます。